

まほろん

通信



開館 25 周年記念企画展

ふくしまの かお

福島県文化財センター白河館（まほろん）の開館 25 周年を記念して、福島県内から見つかった **どぐう** や **はにわ** など、**かお** が表現された出土品が大集合します。

ここでは、その見どころをいくつかピックアップしてご紹介します。

1 やね 屋根の上のサルは何を見ていた？



ふくしまでは、サルの形をした屋根瓦が発見されています。奈良時代のお堂の屋根に、なぜサルの形の瓦が飾られていたのでしょうか？

富岡町小浜代遺跡出土
（とみおかアーカイブ・ミュージアム所蔵）

2 はにわのかおとポーズ

古墳に立てて並べられていた **はにわ** には、さまざまな表情の **かお** があります。また、そのポーズにも意味があります。古墳時代の人々が **はにわ** に託した思いを感じてみましょう。

福島県指定重要文化財
泉崎村原山 1 号墳出土（泉崎村所蔵）



会 期：令和 8 年 7 月 18 日（土）11:00 から
9 月 27 日（日）17:00 まで

開館時間：9:30 ～ 17:00
（ただし、7 月 18 日のみ 10:30 ～ 17:00）

休 館 日：7 月 21 日（火）、27 日（月）
8 月 3 日（月）、12 日（水）、17 日（月）、
24 日（月）、31 日（月）
9 月 7 日（月）、14 日（月）、24 日（木）

3 どうぶつ？ ひと？ 神さま？

縄文時代（いまから 16000 年から 2400 年ぐらゐ前）の人々は、粘土をこねてたくさんの土器をつくりました。そのような土器のなかには、**かお** が表現されたものもあります。動物のようなもの、人のようなもの、動物の **かお** に人のからだがついたオバケのようなもの、**かお** と足が表現されたもの（下の写真）など、ふしぎなものばかりです。**かお** の意味だけでなく、その土器に込められた思いについても考えてみませんか？



いわき市横山 B 遺跡出土
（いわき市教育委員会所蔵）

下郷町栗林遺跡出土
（当館収蔵）

4 かんが 考えてみよう

どぐう のさまざまな表情も楽しむことができます。

5 つの問題に回答すると参加賞がもらえる「**考えてみよう**」などのコーナーもあるので、ぜひチャレンジしてみてくださいね！



南相馬市浦尻貝塚出土
（南相馬市教育委員会所蔵）

関連講演会

※事前申し込み不要

関連講演会 1 「どぐうのキホン」

日時：令和 8 年 8 月 1 日（土）13:30 ～ 15:00

講師：八木 勝枝 氏（公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター主任文化財専門員）

場所：当館講堂・特別展示室

内容：「どぐう」の魅力と謎を解説する講演会。親子も楽しめるわかりやすい内容です。館長との対談や、講師による展示室でのトークも行います。

関連講演会 2 「顔の考古学」

日時：令和 8 年 9 月 19 日（土）13:30 ～ 15:00

講師：設楽 博己 氏（東京大学大学院人文社会系研究科名誉教授）

場所：当館講堂

内容：顔が表現された考古資料研究の第一人者による講演会。昔の人々が顔の表現にどのような思いを託したのかを考えます。館長との対談も行います。

館長からのメッセージ

文：館長 石川日出志
(明治大学名誉教授)

第2回 8月29日(土)

「遺跡の発掘とは何か」

第3回 10月10日(土)

「どのようにして年代を知るのか」

第4回 12月12日(土)

「馬目順一氏をお招きして」

第5回 2027年2月6日(土)

「土器から何が分かるのか」



皆さんこんにちは、まほろん館長の石川日出志です。

まほろんは、今年の7月で開館25周年を迎えます。私も開館間もない頃、毎年何度もまほろんに通って福島県内の弥生土器を勉強し、その合間に弓矢や槍投げをして楽しんだので、もうそんなになるのかと感慨をおぼえます。

さて、皆さんは25年という年月をどのように感じるでしょうか。最近はずこし揺らぎが生じているようですが、ひと昔前は25年をおおよそ一世代と受け止めていました。自分の父母・祖父母、そして自分の子供・孫までで前後4世代ですから、×25年で100年となります。この100年という時間は、「人生＝百年時代」などともいわれるように、人間が実感することができるほぼ最大の時間だと思います。

でも、年齢によって長短違いがありますが、自分が生まれてからのことはその長さに実感があるのに、自分が生まれる前のできごとになると、一気に遠い昔のことに感じます。不思議ですね。そんな時、この100年間にどんなことがあったのか調べてみると、この不思議を乗り越えることができるようになります。

私が専門とする弥生時代は今から2000年前を前後する時代なので、講演する際にそれをもう少しイメージしやすいように「今からほぼ80世代前です」と紹介することがあります。それでも実感するのは難しいかもしれませんが、少しは身近になると思いませんか。日本列島に人類が登場したのは、さらにその20倍近く時間を遡った時代です。すると今度は人類史の悠久さを感じます。このようにして、時間の流れの長短を味わってみてはいかがでしょうか。

まほろん開館25周年記念イベント

『クイズ』に参加した方に、一瞬で色が変わる不思議などくろリングをプレゼント！



『縄文つり体験』に参加した方におさかなバルーンをプレゼント！



大感謝デー

令和8年 7月18日(土) 13:00▶16:00

入館無料 7月19日(日) 9:30▶16:00

※7月18日(土)の開館は10:30から、各体験開始は13:00からになりますのでご注意ください。

レインボーキ偶うちわづくり



200円

発掘体験
ウォーターセレーション



200円



無料
縄文つり体験
じようもん

この他にも様々なメニューがあります。くわしい情報は、大感謝デーチラシ裏面かまほろんホームページをご覧ください

まほろん通信でふりかえる まほろんの 25 年

文：わたなべ あやこ
渡邊 亜矢子（学芸員）

今号のまほろん通信の表紙にびっくりした方も多いのではないのでしょうか？まほろん通信 100 号記念ということで、1 号から 100 号までのまほろん通信の表紙を並べてみました。まほろん開館と同時に創刊されたまほろん通信は、開館 25 周年の今年 100 号を迎えました。今回は 99 号分のまほろん通信からまほろん 25 年の歴史をふりかえってみましょう。

1 号はまほろんの開館日、2001 年 7 月 15 日発行です。開館前のまほろんのフレッシュな姿が写真で紹介されています。続く 2 号の表紙



1号表紙の写真

は開館記念イベント、3 号からはおでかけまほろんや実技講座など、現在も継続しているいろいろな体験活動の様子が写真で伝えられています。石器づくりや和鏡づくり、鉄づくりなど珍しい体験もありました。



20号和鏡づくりの様子

季刊発行を続けていたまほろん通信が唯一ストップしたのが 2011 年の春です。3 月 11 日の東日本大震災によって、まほろんは 5 月まで臨時休館となりました。二か月遅れで発行された 40 号には、被災時の写真が載っています。この年は開館 10 周年でしたが、記念イベントも



被災状況を伝える 40 号

見送られました。翌年の 43 号では破損した施設が復旧した様子が伝えられ、44 号では 10 周年記念式典の写真が表紙を飾りました。

表紙のデザインがガラリと変わったのは 2016 年の 59 号からです。より親しみやすいポップなものへと変更されました。この年は開館 15 周年で、表紙の写真では職員が様々な時代衣装を身にまとい「15」の人文字を作っています。以降の表紙には陽気なキャラクターに扮した職員も登場し、中の紙面もカラフルで楽しい雰囲気になりました。

そして今年、まほろんは開館 25 周年を迎えました。25 年間まほろんの「今」を伝えてきた、まほろん通信。デザインや内容は変わっても、楽しいまほろんを伝えていくその使命はこれまでもこれからも変わりません。今後のまほろんとまほろん通信にも、どうぞご期待ください！

まほろん通信はまほろんホームページですべて見るができます。



まほろん通信のページ



公式 YouTube



公式インスタグラム



59号の表紙



今後の行事予定

- | | |
|--|--|
| 7/11（土）第2回まほろん森の塾 | 8/9（日）実技講座「はにわづくり」 |
| 7/18（土）開館 25 周年記念式典
※ 7/18 は 10：30 開館 | 8/29（土）第 2 回館長講演会 |
| 7/18（土）・19（日）大感謝デー | 9/12（土）第 3 回まほろん森の塾 |
| 7/18（土）～ 9/27（日）
開館 25 周年記念企画展「ふくしまのかお」 | 9/19（土）「ふくしまのかお」関連講演会② |
| 7/22（水）～ 8/30（日）夏休みメニュー | 10/3（土）実技講座「編み組み体験」 |
| 7/26（日）実技講座「土偶づくり」 | 10/10（土）第3回館長講演会 |
| 8/1（土）「ふくしまのかお」関連講演会① | 10/17（土）実技講座「大堀相馬焼体験」① |
| | 10/24（土）・10/25（日）
白河館開館 25 周年記念読み直すふくしまの歴史講演会 |
- ※詳細はまほろんへお問い合わせいただくか、まほろんホームページをご覧ください。

編集後記

まほろんは今年の 7 月 15 日で開館 25 周年！まほろん通信は今号で vol.100 となりました！これまで歴史を重ねてこれたこと、その一員となれたこと、大変嬉しく思います。これからのまほろんも楽しいイベントが盛りだくさんです。どうぞお楽しみに！



まほろん
通信
vol. 100

令和 8 年 7 月 9 日発行

開館時間 9:30 ～ 17:00（入館は 16:30 まで）
休館日 月曜日（7/20、8/10、9/21、10/12 を除く）、
7/21、8/12、9/24、10/13
入館料 無料（体験学習によっては、材料費が必要な場合があります。）



福島県文化財センター●白河館

〒961-0835
福島県白河市白坂一里段 86
☎ 0248-21-0700
Fax 0248-21-1075
ホームページ まほろん 検索



HP



MAP